皆様からの作文、29通集まりました

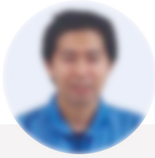
キャップのある思い出

NCCで最も印象に残っているエピソードを募集しました。
ご応募いただいた29通の中から見事賞に選ばれた方々の作品をご紹介！
社内でのエピソードはもちろん、ご家族とのプライベートのお話まで。
キャップとの心温まるストーリーをご覧ください。

最優秀賞

宝物箱

[redacted]



Highest Award

私には4歳の娘（[redacted]）と1歳の息子（[redacted]）の2人の子供がいます。

4才の娘、[redacted]は成長著しく、いろいろな物事を理解するようになり、私の仕事についても聞いてくるようになりました。

[redacted]が「なんでパパは仕事で家におらんのがいっぱいなん?」と聞いてきたので「パパがお仕事でいっぱいペットボトルのキャップをつくってお金をもらって、それで[redacted]ちゃんのごはんや、おかしを買っとるんよ」と話をしました。

それから数日が経ち、子供たちがちらかしたおもちゃなどを片付けていたら、[redacted]の大切にしている妖怪ウォッチのバッジや、ビー玉の入っている宝物箱の中に、ペットボトルのキャップが入っていました。

[redacted]に「なんで宝物箱の中にキャップが入っているの?」と聞いたら、「パパがお仕事で頑張ってつくっとるから大切じゃろ」と言ってくれ、胸に込み上げてくるものがあり、思わず目頭を押さえてしまいました。

これで話を終えてしまえば良い話で済むのですが、よくよくキャップを見てみるとNCCのキャップではなく、他社のキャップでした（苦笑）。

これからも子供たちに安心、安全な製品をつくりつづけ、他社のキャップを宝物箱に間違えて入れられないよう、より多くの国内シェアを獲得できるよう頑張り、なによりも大切な私の宝物である子供たちの笑顔をたくさんつくっていける家庭を築けていけたらと思います。